
霧姫の恋

癒得

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

霧姫の恋

【著者名】

癒得

N5537D

【あらすじ】

ある少女がある男に恋をするお話。

(前書き)

文章がへたくそで読みにくいかもしれません。『アホ承ります』(

—) m

私に・・・好きな人が出来た。

初めて人を好きになった。

出会いは高校の学校見学の時。

迷子になつた私にやさしく道を教えてくれた。

たつたそれだけなんだけど・・・それでも私は嬉しかつた。

それからその学校に入る事に決めた。

その人と同じ学校で、同じ場所で時間を過ぎせたらと思つたから。

名前も知らないあの人のために一生懸命頑張つた。

それほど難しい高校でもなかつたけど、今までなんとなく中学に通つて、高校もとりあえず

行こうと思つてただけだつたから勉強をちゃんとしてなかつた。

だから私にとっては難しかつた。

時間がたつて入試の日が近づいてきた。

こんなに頑張ったのはこれで2度目。

いつも私は誰かのために・・・

一度目もそうだった。

大切な人が喜んでくれたから、上達すればほめてくれたから。

でも大切な人はいなくなつた。突然に。

だから頑張る事をやめた。

頑張つて練習して上手くなつた物は私の大切な人をもう笑顔に出来
ない、

だから私の嫌いな物に変わつてしまつた。

今度もそうなるかもしれない・・・

そして入試は終わつた。

自信はある・・・でも・・・怖い・・・

日にちが経つて結果が出た。勉強の甲斐あつて合格。

あの人と同じ高校に通う事になつた。

でも入学式から数日たつているのにあの人を学校で見かける事がな
かつた。

よく考えてみれば卒業している可能性もあるかもしれない。

私は・・・また・・・

数日で諦めるのは早いかも知れない。

でもここで諦めてしまつた方が楽な気がする。

その時声が聞こえた。聞き覚えがある声。

今体育館では部活の話を新入生に對して、しているはず。

そこからあのやさしい声が聞こえた。

あの人は部活で部長をしていた。

しかも私が大切な人をもう笑顔にできないと嫌いになつてしまつた
物を部活で扱つていて。

嬉しかつた。

そして私は決めた。あの部活に入らう。

入れば私は変われるかも知れない・・・

それに・・・・・の人を守りたい、もう大切な人を失いたくないか
ら・・・

(後書き)

意味がわからないという人はすいません泣 実はちょっとした秘密
が絡んでいてそれを表現したらこんなになりました泣 最後まで読
んでいただけてありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5537d/>

霧姫の恋

2010年12月2日02時37分発行